歯	科	12	お	け	2
<	す	b	0)	20	23
使	い	方		20	/ 26

小泉龍士 石金正裕 大曲貴夫 (国立国際医療研究センター)

助川信太郎(香川大学医学部) 藤村 愛(香川県立中央病院)

浅井緋花里 岡 秀昭 (埼玉医科大学総合医療センター)

飯島健太 岩田健太郎 (神戸大学医学部附属病院)

飯鳥健太 岩田健太郎(神戸大学医学部附属病院)

金坂伊須萌(東邦大学看護学部)

矢野晴美 (国際医療福祉大学)

小林寅喆 (東邦大学看護学部)

金子明寛(池上総合病院)

横尾 聡 (群馬大学大学院)

日馬由貴(兵庫県立尼崎総合医療センター)

中西康大 (東海大学医学部付属八王子病院)

馬渕智生(東海大学医学部付属病院)

浦上宗治(佐賀大学医学部附属病院) 青木洋介(佐賀大学医学部)

003 刊行にあたって

Chapter 1 感染症治療薬

		_		_
- 1	- 47	-1		
_	-41	П.	1361	

●歯科におけるAMR対策の現状

❷歯科で使用する抗菌薬作用機序、

体内動態、PK-PD

❸□腔細菌に対する薬剤感受性

◆歯科□腔外科領域の感染症ガイドラインと

●歯科治療時における感染性心内膜炎予防

6ペニシリン系薬

⑦歯科におけるセフェム系薬の位置づけ

❸歯科におけるマクロライド系薬の位置づけ

❷キノロン系薬

⑩テトラサイクリン系抗菌薬・クリンダマイシン

①抗菌薬、薬剤情報提供 用法・用量・効能・効果・副作用・相互作用

型難治性歯性上顎洞炎に対する治療

❸妊婦・授乳婦への抗菌薬処方時の説明

₫歯科における静注抗菌薬の特徴

●抗菌薬のアレルギー 病因、病態、治療

2. 抗ウイルス薬

●アシクロビル、バラシクロビル、 ファムシクロビル、アメナメビル

3. 抗真菌薬

●□腔カンジダ症の薬物療法 ミコナゾール、イトラコナゾール、アムホテリシンB

岩渕博史 (国際医療福祉大学病院)

②抗真菌薬、薬剤情報提供

用法・用量・効能・効果・副作用・相互作用

金子明寛(池上総合病院)

山田和範 (中村記念病院)





Chapter 2 鎮痛薬·抗炎症薬

1. 歯科における非ステロイド性抗炎症薬 (NSAIDs)

●化学構造による分類

①酸性NSAIDs 小林真之(日本大学歯学部) 桃田幸弘(徳島大学大学院医歯薬学研究部) ②塩基性NSAIDs 小林真之(日本大学歯学部) 桃田幸弘(徳島大学大学院医歯薬学研究部)

③中性NSAIDs 小林真之(日本大学歯学部) 桃田幸弘(徳島大学大学院医歯薬学研究部

②作用時間による分類(血中半減期による分類) 桃田幸弘(徳島大学大学院医歯薬学研究部) 小林真之(日本大学歯学部)

122 3剤形による分類 桃田幸弘(徳島大学大学院医歯薬学研究部) 小林真之(日本大学歯学部)

126 4アセトアミノフェン 桃田幸弘(徳島大学大学院医歯薬学研究部) 小林真之(日本大学歯学部)

2. 慢性疼痛に対する薬物療法

130 **①**Ca²⁺チャネルα₂δサブユニット結合薬 小林真之 今村佳樹 (日本大学歯学部)

2オピオイド鎮痛薬

①歯科治療(含トラマドール) 川又 均(獨協医科大学医学部) 須藤一郎(奥出雲町立奥出雲病院)

②がん性疼痛 須藤一郎(奥出雲町立奥出雲病院) 川又均(獨協医科大学医学部

自見英治郎 (九州大学歯学研究院)

三島克章 (山口大学大学院)

Chapter 3 骨修飾薬と歯科治療

1. 骨修飾薬

自見英治郎 (九州大学歯学研究院) 147 **②**抗RANKL抗体 自見英治郎 (九州大学歯学研究院)

2. 薬剤性顎骨壊死

150 ③ビスホスホネート製剤

152 **①MRONJ** 総論 岸本裕充(兵庫医科大学医学部)

158 **2MRONJの**ステージ分類と発症頻度

❸歯科治療時のMRONJの予防 岸本裕充(兵庫医科大学医学部) 歯科治療ガイドライン

165 **4MRONJに対する治療** 三島克章 (山口大学大学院)

Chapter 4 歯科関連疾患と薬物療法

1. 骨炎と骨髄炎

170 ●顎骨炎、骨髄炎 総論 飯田征二(岡山大学大学院) 174 ②細菌性顎骨炎・骨髄炎の治療と薬物療法 田中晋(大阪大学大学院)



179 **③**抜歯後治癒不全・ドライソケット 田中晋(大阪大学大学院)

182 ④歯性上顎洞炎に対する薬物療法 松村達志 (和歌山県立医科大学医学部)

2. 顎関節症と薬物療法

186 ●顎関節疾患 総論 相川友直(広島大学大学院)

191 2顎関節症の治療 相川友直(広島大学大学院)

3. 末梢神経障害への薬物療法

髙田 訓 (奥羽大学歯学部)

②三叉神経障害の原因と治療 髙田 訓 (奥羽大学歯学部)

❸末梢神経障害性疼痛 今村佳樹 (日本大学歯学部)

212 ④三叉神経痛 山崎陽子(東京医科歯科大学病院) 前田茂(東京医科歯科大学大学院)

215 6頭面神経麻痺に対する薬物療法 阿部雅修 星 和人 (東京大学大学院)

野添悦郎 中村典史(鹿児島大学大学院)

4. 口腔潜在的悪性疾患と薬物療法

224 ①□腔潜在的悪性疾患 総論 片倉 朗 (東京歯科大学)

❷薬物学視点から見た□腔がん発症因子 片倉 朗 (東京歯科大学) タバコとアルコール

❸□腔白板症 杉浦 剛 (鹿児島大学大学院)

●□腔扁平苔癬 尾田誠一郎 森良之(自治医科大学医学部)

❺前がん病変の経過観察 杉浦 剛 (鹿児島大学大学院) 上皮異形成を視覚化するヨード染色

5. 口腔粘膜疾患と薬物療法

238 **①**舌痛症、口腔灼熱症候群 (BMS) 坂田健一郎 北川善政(北海道大学大学院)

2 自臭症 森田 学(岡山大学大学院)

❸口腔乾燥症(ドライマウス) 中村誠司 (九州大学大学院)

●□腔カンジダ症 岩渕博史 (国際医療福祉大学病院)

255 **⑤**ウイルス性口内炎 里村一人(鶴見大学歯学部)

坂田健一郎 北川善政(北海道大学大学院)

266 **⑦**アレルギー性口唇炎 大賀則孝 北川善政(北海道大学大学院)

6. 歯周疾患と薬物療法

269 ①歯周病と薬物療法 菅谷 勉 (北海道大学大学院)

7. 周術期歯科治療時の薬物療法的留意点

274 ①抗血栓薬服用中の患者への対応 川又 均 (獨協医科大学医学部)

2人工透析患者 池畑直樹 近津大地(東京医科大学)

3周術期口腔機能管理(Ⅲ)の際に役に立つ 口腔粘膜炎を起こしやすい薬物と対応

曽我賢彦(岡山大学病院)

Chapter 5 局所麻酔薬と精神鎮静法で使用される薬物

1. 局所麻酔

294 ①表面麻酔用製剤 半田俊之(東京歯科大学)

298 ②注射用製剤の使い分け 小鹿恭太郎(東京歯科大学)

302 3局所麻酔に関するステートメント 一戸達也(東京歯科大学)

4アドレナリンの使用に 注意すべき疾患 (旧原則禁忌) と常用薬物

①高血圧 松浦信幸(東京歯科大学)

②動脈硬化 川口 潤(東京歯科大学)

③心不全 311 櫻井 学(朝日大学歯学部)

314 ④甲状腺機能亢進症 後藤隆志(朝日大学歯学部)

⑤糖尿病 316 砂田勝久(日本歯科大学生命歯学部)

⑥血管攣縮の既往・薬物相互作用 吉田香織(東京歯科大学) 320

322 6フェリプレシンの使用に注意すべき疾患 縣 秀栄 (栃木医療センター)

324 6小児への局所麻酔薬の使用 新谷誠康(東京歯科大学)

326 夕妊婦・授乳婦への局所麻酔薬製剤の使用 萩原綾乃(東京歯科大学)

2. 精神鎮静法

328 **1**ミダゾラム 前田茂(東京医科索科大学大学院)

332 ②プロポフォール 宮脇卓也(岡山大学学術研究院)

336 3デクスメデトミジン 山口秀紀 (日本大学松戸歯学部)

Chapter 6 救急薬と救命処置

讃岐拓郎(神奈川歯科大学)

342 2薬物によるアナフィラキシーショック 丹羽 均(大阪大学大学院)

Chapter 7 医科基本薬と基本知識

348 **①**プレドニゾロン 髙原久嗣 (順天堂大学医学部附属浦安病院)

②非ステロイド性抗炎症薬 (NSAIDs) 酸性・塩基性 急性炎症: 抜歯後・疼痛時の使い方

合田朋仁 (順天堂大学医学部)

③抗凝固薬、抗血小板薬(抗血栓薬)

清水芳男 (順天堂大学医学部附属静岡病院)

内野 泰 (東邦大学医学部)

369 6 降圧薬

神田怜生 (池上総合病院)

374 **6**パーキンソン病治療薬

王子 悠 服部信孝 (順天堂大学医学部)

Chapter 8 消毒薬·含嗽剤·口腔保湿剤

380 **1** □ 腔ケアに必要なもの、方法

植田耕一郎 阿部仁子(日本大学歯学部)

384 ②歯磨剤

秀 真理子 (順天堂大学医学部附属練馬病院)

387 3含嗽剤・洗口剤

尾本 懸 (順天堂大学大学院)

390 **4** □ 腔保湿剤 · □ 腔粘膜保護剤

梅山 遼 (順天堂大学大学院)

393 ⑤口腔外・口腔内の消毒

梅山 遼 石井隆哉 (順天堂大学大学院)

396 **6標準予防策** 手指衛生と個人防護具 (PPE)

篠原光代 菅原佳奈子(順天堂大学大学院)

400 **⑦**歯科用器具の消毒と環境清掃

篠原光代 (順天堂大学大学院)

404 8 歯科訪問診療における滅菌・消毒

真下貴之 (順天堂大学大学院)

Chapter 9 漢方薬

408 ①漢方処方の一歩 診察方法

別部智司(神奈川歯科大学歯学部)

2薬価基準による歯科関係薬剤点数表掲載の 漢方薬を使い切る

別部智司(神奈川歯科大学歯学部)

422 薬の基礎知識・用語解説 竹野敏彦(日本歯科大学新潟病院)

430 主要薬品一覧

原澤秀樹 (河北総合病院)

464 索引

Column

- 106 ①マキシピーム[®]も市場から消える …………金子明寛 (池上総合病院)
- 133 ②アスピリン喘息患者への鎮痛薬の投与 …………小林真之(日本大学歯学部)
- 211 3今後20年は変わらない超高齢社会に臨んで ………………飯田征二 (岡山大学大学院)
- 279 **4 AMR2050年問題をご存じですか?** …………北川善政(北海道大学大学院)
- 297 **(5) 歯科用注射用製剤の保存方法** ……………… 戸達也 (東京歯科大学)
- 353 ⑥糖尿病と歯周病 歯科・医科連携の大切さ …… 富野康日己 (医療法人松和会)
- 406 ⑦抗菌薬、何を使っていますか? ………………篠原光代(順天堂大学大学院)